

# ケアマネ連絡会

## ◇令和5年度 事業報告

### 1、主な構成メンバー

- ・長野市障害福祉課
- ・長野市北部障害者相談支援センター（5名）
- ・長野市南部障害者相談支援センター（4名）
- ・長野市北部発達相談支援センター（1名）
- ・長野市南部発達相談支援センター（1名）
- ・長野市障害者権利擁護サポートセンター（2名）
- ・長野市障害者地域移行コーディネートセンター（1名）

### 2、今年度の取り組み

ケアマネ連絡会では、各部会やワーキングの活動状況や参加された会議等についての情報共有を中心に行ってきた。今年度も5つの地域課題ワーキングの事務局を運営委員会と共に担った。また相談支援から見えてくる地域課題の抽出や共有を行い、今後の方向性の検討を行った。

### 3、ケアマネ連絡会の活動状況・主な成果と課題

#### (1) ケアマネ連絡会活動報告

##### 【長野市障害ふくしネット】

| 事業名・会議名                 | 事業内容・会議内容  | 今年度の振り返り   |
|-------------------------|--|--|
| 各部会への参加<br>(ふくしネットフェスタ) | 各部会・委員会の定例会と<br>執行部への参加<br>ふくしネットフェスタへの<br>参加  | ケアマネ連絡会より、担当者が各部会・<br>委員会の定例会と執行部へ参加。会議内<br>容をケアマネ連絡会で報告し、課題等の<br>情報共有や検討を行った。<br>部会・委員会が主体となり運営されたふ<br>くしネットフェスタへ、参加・協力を行<br>った。          |
| 指定相談支援事業所連絡会            | 長野市内指定相談支援事業<br>所の相談支援専門員の定<br>例会議。制度や社会資源<br>等についての情報共有<br>と、テーマに基づいた学<br>習、グループワークを実<br>施。 | ケアマネ連絡会、連絡会執行部、長野市<br>障害福祉課とで協力して、一体的に運営<br>した。ケアマネ連絡会としては地域課題<br>を意識してのかかわりに努めた。また、<br>南北障害者相談支援センターとして人<br>材育成の視点で相談支援専門員との連<br>携強化に努めた。 |
| 部会長連絡会・運営委員会            | ・部会長連絡会<br>・運営委員会<br>・事務局会議  | 各会議へ代表者が参加し、運営委員会<br>にむけての議題整理、地域課題の共<br>有、検討や情報共有に努めた。<br>各会議で検討された事項をケアマネ連<br>絡会で情報共有した。   |

【会議等（長野市）】

| 事業名・会議名             | 事業内容・会議内容   | 今年度の振り返り   |
|---------------------|---|--|
| 障害支援区分認定審査会         | 障害支援区分の審査   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ毎月、1回約30件行った。</li> <li>・今年度は、コロナウイルスも5類になり、全て対面の審査に戻った。</li> </ul>   |
| 長野市障害者虐待防止連携協議会     | 障害者虐待等に関する情報共有を目的とし、長野市障害福祉課と権利擁護サポートセンターが連携して行う協議会               | <p>R5年7月12日ケアマネ連絡会より出席</p> <p>R4年度活動報告・R5年度活動方針・事例報告「障害福祉事業所での虐待防止の取り組みと課題」・各関係機関との意見交換等行った。</p>   |
| 長野市障害者差別解消連携協議会     | 障害を理由とする差別を解消する取り組みを効果的、円滑に行うことを目的とし長野市障害者と権利擁護サポートセンターが連携して行う協議会 | <p>R5年7月12日ケアマネ連絡会より出席</p> <p>R4年度活動報告・R5年度活動方針・身体障害をお持ちの方より体験発表・意見交換を行った。</p>   |
| 長野地域成年後見支援ネットワーク協議会 | 長野市成年後見支援センターの運営及び成年後見制度の利用促進に関わる会議に年2回出席した。                      | <p>第1回（R5.8.31）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村における令和5年度の取り組みについて</li> <li>・長野市成年後見支援センターの運営状況について</li> </ul> <p>第2回（R6.02.29）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市成年後見支援センターの運営状況について</li> <li>・成年後見制度利用支援事業について</li> </ul> <p>成年後見支援センターの位置づけや運営状況の確認と成年後見制度利用促進事業の現状と課題を把握した。</p> |

|                                 |  |   |
|---------------------------------|--|---|
| 長野市地域福祉推進会議                     | 第四次地域福祉計画の実施状況や、その他市の地域福祉の推進について、関係機関が集まり意見交換を行うための会議。               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6年1月23日、第2回長野市地域福祉推進会議が各関係機関から10人の代表委員と行政のメンバー合わせて23名の出席者のもと開催。基本施策の進捗状況を確認し、障害のある方によっては地域への繋がりにくさを抱えている方もおり、お誘いや声掛けも含めたイベント・活動を計画していただけるとありがたい点を加えてお伝えする。</li> <li>また、重層的支援体制整備事業について他機関と狭間の課題に対して連携していくため、各機関同士のスキルアップの機会を検討してもらえるよう提案した。</li> </ul> |
| 身寄りのない方への支援のあり方ガイドライン策定委員会・作業部会 | 市地域包括ケア推進課・長野市社会福祉協議会が設置する、身寄りのない人の入院・施設入所等に関わるガイドライン策定を目指す委員会及び作業部会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>委員会…年3回</li> <li>在宅生活部会（作業部会）…年7回参加。</li> <li>ガイドライン策定に向けた意見交換や内容の検討を行った。</li> </ul>   |
| ひきこもり支援ネットワーク会議                 | ひきこもり支援を推進するため、関係機関や団体が相互に連携できる体制を構築し、必要な情報交換や課題検討を行う会議。             | <ul style="list-style-type: none"> <li>11月30日に開催。保健所、まいさぼ、こども総合支援センターあのをっとより、ひきこもり支援や不登校相談の取組状況の報告。</li> <li>関係機関等の連携の在り方についての意見交換を行った。</li> </ul>  |
| 特別支援コーディネーター連絡会                 | 各支会に分かれた研修会・連絡会と全体会に参加。また、連絡会の運営委員としても参加した。教育と福祉の連携の部分で情報提供などを行う。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会 年3回</li> <li>特Co連絡会年3回</li> <li>「福祉からの情報提供」という部分で相談の現状などを報告した</li> </ul>   |
| 教育支援委員会                         | 特別支援の配慮が必要な児童生徒への適切な就学先を検討し、判断する委員会                                  | 年13回参加。   |

【会議等（長野県）】

| 事業名・会議名          | 事業内容・会議内容  | 今年度の振り返り  |
|------------------|--|---|
| 障がい者相談支援体制機能強化会議 | 各市町村の障害者総合支援センター代表と、行政が参加。県の自立協議会に位置づけられた会議として、各地域の障害者相談支援体制の整備及び質の向上を目的とする会議。 | 年間で3回開催された。各テーマは「障害者総合支援法の改正のポイント」「支援の質の向上に向けての人材育成～地域 OJT 体制とケアマネジメント検証の基礎～」「地域生活支援拠点登録の推進について・令和6年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改正内容について」だった。県内他地域の情報を知り、相談支援体制を考える参考とすることができた。相談支援事業所との情報共有について、今後検討していきたい。主任相談支援専門員にも周知し、参加を呼び掛けた。  |
| 長野県自立支援協議会       | 長野県自立支援協議会の各部会の活動状況や各市町村の状況報告を、県全体の市町村へ周知することを目的とした会議。                         | 年3回参加（6/14、11/21、3/12）<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 長野県自立支援協議会について/専門部会等の活動計画について</li> <li>・第2回 専門部会等の活動状況/圏域（地域）協議会と県協議会（フォーラムなど）の取り組みについて</li> <li>・第3回 専門部会等の活動状況/圏域（地域）協議会と県協議会の取り組みについて/地域からの課題について</li> </ul> 県自立支援協議会全体の様子・動向を把握し、ふくしネットの運営に繋がられるよう報告した。 |

【地域課題 WG】

| 事業名・会議名  | 事業内容・会議内容   | 今年度の振り返り   |
|----------|---|--|
| 災害時の支援体制 | 個別避難計画や福祉避難所の取組状況を、福祉政策課に協力いただき確認。<br>障害福祉課・福祉政策課・危機管理防災課の協力の基、福祉事業所が福祉避難所・指定福祉避難所を知る機会を設け、災害時の避難者受入れについて福祉事業所の視点での率直な意見交換を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備会…9回（6/7、7/4、8/25、9/29、10/12、11/21、12/25、1/19、2/16）</li> <li>・11/21「災害時の障害者の避難について福祉事業所が考えること～福祉避難所について～」開催 35名参加<br/>※市職員10名・準備会メンバー6名除く</li> </ul> |

|            |   |   |
|------------|---|---|
| 生活介護での入浴支援 | 生活介護事業所における入浴サービスに係る加算についての検討   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局会議を行い今後のワーキングの方向性を検討（2回）</li> <li>・生活介護事業所、相談支援事業所へのアンケートを実施し（2月）事業所の状況や利用者のニーズの把握を行った。</li> </ul>   |
| 高齢化問題      | 高齢化問題に関する課題検討を行う。<br>今年度はWG事務局に加え、WGメンバーとして当事者、市地域包括ケア推進課、居宅介護事業所、相談支援専門員が参加。                           | <p>昨年度課題整理を行った中から、「高齢者の移動」に関する課題を取り上げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WG事務局会議（7月、8月、9月、2月）</li> <li>・WG開催（10月、11月、12月）</li> </ul> |
| GH 休日支援    | 前年度学校卒業後の夕方の支援について検討する中で、GHでの休日の過ごし方も課題があがってきた。今年度はGH事業所や居宅介護事業を中心としたメンバーで実際の過ごし方や休日余暇活動に対する課題について検討した。 | 執行部会年4回実施。ワーキングは年3回実施。GH支援者や居宅介護支援事業所のメンバー中心として、マンパワー不足だけではなく入所者の高齢化や重度化によって支援の量が増えていることも確認。希望する余暇活動の支援に向け既存のレクリエーション活動等支援事業補助金の活用案を作成。         |
| 医ケア児の移送問題  | 医療的ケア児の移送課題について検討。  | 地域の状況確認と県内や他県の動きを情報収集。通院時の移送課題の事業化に向けての検討を行った。7回開催。<br>（6/16、7/19、8/30、10/10、12/1、1/24、3/4）   |

## （2）総括

### ①長野市障害ふくしネット

ケアマネ連絡会より、担当を決めて各部会・委員会及びその執行部へ参加した。毎回、部会等の検討内容を報告し、情報共有に努めた。各部会・委員会の運営のサポートや地域課題を広く共有するために、地域課題の抽出や整理について検討していく必要性が感じられた。地域課題についてより深く身近に感じていると思われる、相談支援専門員との緊密な連携や指定相談支援事業所連絡会について、今後体制などを考えていく必要があるかと思われる。

来年度から、運営委員会をはじめふくしネットの運営体制が変わるので、部会同士の連携や地域課題の共有など、ふくしネットのより一層の活性化につながるよう検討していきたい。

## ②地域課題の検討

今年度、ケアマネ連絡会では、B・C群の課題について、別紙のとおり検討してきた。とくに優先的に取り組んだ「地域生活支援拠点の整理」については、第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画策定に向けて、拠点整備や基幹設置を意識した中で、地域の実情と擦り合わせる機会にもなった。その中で見えてきた一人暮らしの体験の場の必要性や地域の中の社会資源のあり様、地域における相談体制の在り方、地域の中で育ちを支える包括的支援の在り方など、まさに拠点整備に関連した課題であり、引き続き課題を明らかにするため検討していく。

また、A群の5つの地域課題ワーキングについては、昨年に引き続き、各々ワーキングの検討状況を運営委員会やケアマネ連絡会の中で共有しながら、課題解決に向けて取り組んできている。

## ③第7期長野市障害福祉計画・第3期長野市障害児福祉計画の見直しについて

障害福祉計画・障害児福祉計画について気づいたことを共有した。地域生活支援拠点など、地域の障害福祉について現状を確認し、考え直すきっかけとして検討することができた。今後、地域課題の検討に活かしていきたい。